

 いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)



### 園芸は人も育てます。

相談コーナーには植物全般、様々な相談がきます。その中で多いのが、やはり園芸相談です。中には私自身が育てた経験のないものもあります。そんな時は丁寧に調べて、一般的な栽培方法を紹介します。相談される側も日々勉強の毎日であります。植物の相談事がありましたら、どうぞ近所の花好きさんで。そしてさらにわからなかったら、相談コーナーを利用してください。花を育てる喜びや悩みは、一人より皆でワイワイする方が何倍も楽しいのですから。園芸には人をつなげる力もあると思うのです。(きのした)

### バラハタマバチのバラハタマフシ

バラ園は無農薬で管理されていますので、時々面白い虫に出会うことがあります。バラの葉裏に7～8mmの丸い玉がついていて実のように見えますが、こんなところに実がつくのはおかしいですね。これは虫が植物の中に入り込み、植物の成長を操作することでできあがる虫たちの家で、中には幼虫が住んでいて、外敵から身を守ったり内側を食べたりしています。バラハタマバチという、体長3mmほどのハチによってつくられる虫こぶは、バラハタマフシという名前がついています。5月中旬から8月にかけて継続的に現れ、20日ほどで成熟し地面に落下します。中の幼虫はそのまま成長し続け、蛹を経て成虫となり、翌春に虫こぶに穴を開けて脱出したのちバラの新芽に産卵します。蜂は小さいのでなかなか見つけられませんが虫こぶは見つけられるかも。葉っぱの裏も観察してみてくださいね。(いとう)

### 多様化してきた薔薇

「バラは難しいから」と多くの皆さんは感じているのではないのでしょうか？近年のバラ栽培のライフスタイルと言えば、「手をかけて愛情たっぷり」に育ててもよし、とりあえず植えて花が咲き気軽に楽しむ「ローズ、ペイサージュ」タイプ貴方はどちらがお好きでしょうか？花よし、姿よし、香りよしと三拍子揃った薔薇を見つけた時、お庭の中は幸せに満ち溢れ夫婦の会話も増えているはず！(たかはし)

### 夏を代表する花木～ムクゲ

ムクゲは夏花木の代表選手で熱帯性のハイビスカスの仲間です。赤紫、赤、桃、白などの大きな花を、一重で2～3日、八重だと10日以上咲き続けるので、市内のあちらこちらで見かけることが多くなります。アブラムシの発生に注意しますが、皆さんが一番悩む剪定は春の花木に比べ至って簡単です。秋遅くまたは早春にばっさり切り詰めても5～6月に花芽が出来るので、花が咲かないといった心配が少ない花木のひとつです。(かわはら)

### トウキビを植えたがうまく実が付かない

トウキビは雄花と雌花が別々に咲きます。最上部の穂が雄花で、トウキビの実になる部分の白いひげみみたいなのが雌花です。上部の雄花から花粉が落ち、下部の雌花に付き受粉します。したがって、異常に寒かったり長雨だったりして、雄花の開花時期と雌花の開花時期が異なると実が付きません。また植える時は、1列ではなく2列3列となるように植えた方が受粉し易いです。トウキビは肥料くいです。追肥を忘れず与えてください。(ながやす)

# バラ園

2番花、強健で旺盛な品種は3番花があがっています。超満開時に比べると花数は少ないですが、楚々と咲くバラにも美しさを感じ、とても癒されます。イングリッシュローズガーデンやレストランボーダーガーデンではホスタ、アガパンサス、ヘレニウムなど夏の宿根草が可愛らしく爽やかさを演出してくれます。ハマナシやハイブリッドルゴサ、オールドローズは少しずつローズヒップが色づいてきますよ。

整形式ガーデンはちょっとだけお休みモード(´-ω-`)  
素敵な秋花を咲かせるために、切り戻し作業を行っています。

## 8月の開花情報



## 室内公園 色彩館

### マイソルヤハズカズラ

Thunbergia mysorensis  
キツネノマゴ科 ヤハズカズラ属  
原産地：インド 開花：周年

黄色い花と赤褐色の苞のコントラストが美しく、花序は長さ1mほどまで垂れ下がります。日差しが強い熱帯地域では、パーゴラや窓辺などの日よけのため、フラワーカーテンとしてよく使われるそうです。学名の mysorensis はインド南西部の都市マイソールに由来します。



### 【知恵袋】

#### 愛する人にバラの花を贈る時の本数

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1本 “一目惚れ”            | 2本 “二人だけの愛”       |
| 3本 “愛の告白”            | 4本 “死ぬまで愛す”       |
| 5本 “出会いの喜び”          | 6本 “夢中”           |
| 7本 “密かな愛”            | 8本 “思いやりの心”       |
| 9本 “いつも一緒に”          | 10本 “あなたが全て”      |
| 11本 “最愛”             | 12本 “私と付き合ってください” |
| 13本 “永遠の友情”          | 15本 “謝罪”          |
| 21本 “あなただけに尽くす”      | 99本 “永遠の愛”        |
| 108本 “結婚してください”      |                   |
| 999本 “生まれ変わっても貴方を愛す” |                   |

チョット  
いっぷく



こんなにも深い意味があったのですね！  
大切な日にバラをプレゼントしてみてもいいかもしれません。

欧米では、「愛する人に12本のバラを贈ると幸せになれる」と考えられており、結婚式のブーケや、披露宴の演出でも使われます。プロポーズにもピッタリですね。

# ひとつき ひとつバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第四十二回

フロリバンダローズ

マチルダ

Matilda

作出国：フランス

作出者：Meilland

作出年：1988年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Coppélia ' 76 × Nirvana

当園のウェルカム ガーデンは、特に強健で繰り返し咲き性の強い品種を選び植栽しており、シーズンを通じて行く人の目を楽しませています。ここのバラたちは、どれも初心者でも育てやすいのでオススメなのですが、今回はその中でもとびきり可愛らしく人気者な品種をご紹介します！

マチルダは、白からクリーム色がかった花びらに淡いピンクの覆輪のようなぼかしが入った、八重で平咲きの清楚で可憐なバラです。咲き進むにつれ、花びらが波打ちフリルになり、花径7cmほどの中輪が大きな房咲きとなって株全体を覆います。濃緑の葉色とのコントラストも素晴らしいです。

ハーディネスゾーンは Z6で、寒冷地ではベト病に注意が必要、という記述も見られましたが、ゾーン5の岩見沢でも健康的な葉を繋らせモリモリと元気に育っていますので、強健性と耐寒性はお墨付きです。花付き・花保ちともに良く、また前述のとおり繰り返し咲き性も強いので、花が小さくなりがちな二番花の時期でも、イジけることなく常に華やかに咲いてくれています。また、バガテルバラ新品種国際コンクールなど、世界各国のコンクールで受賞歴を持ち、名実ともに優秀な品種といえるでしょう。見た目も素晴らしく、病気にも強く、

たくさん咲いてくれるなんて、一粒で何粒も美味しい、みたいな…欲張りですよ！樹高は約1mほどで横張りで、こんもりとした綺麗な樹形になります。お庭使いとして人気がありますが、鉢植えにも適していますので、マンションなどのベランダでも大いに楽しむことができます。

マチルダは女性の人名で、ゲルマン語を語源とし「maht (強力な)」と「hild (戦い)」に由来するそうです。スカンジナビア周辺諸国でよく使われている名前です。近年他のヨーロッパ諸国でも人気が高まってきているとか。きっと親御さんたちは、強く美しく逞しい女性になることを願って名付けるのでしょうね。それを聞くと、マチルダと名付けられたのも何だかうなずけます。他にも、フランス人歌手の名前の「Charles Aznavour (シャルル アズナブール)」、南アフリカの地名が入った「Pearl of Bedfordview (ベッドフォードビューの真珠)」、「Seduction (誘惑)」など、たくさんの別名があり、多くの人を魅了しとても愛されていることが窺えます。

秋深くなると、花色が濃く出て全体が桃色になり、まるで上気したような、また一味違う可愛いお顔を見せてくれる点も見所です。ぜひ艶やかな秋花もご覧くださいね。

色かたち良く、香り濃い秋バラをお楽しみください

# いわみざわローズフェスタ 2017 IWAMIZAWA Rose Festa



9/23 SAT ▶ 10/1 SUN  
ようこそ、誇り高き北国のバラ園へ。  
いわみざわ公園バラ園  
IWAMIZAWA PARK  
ROSE GARDEN

## \* 秋に咲くバラのこと \*

バラには、年に一度しか咲かない「一季咲き」と、数回咲く「繰り返し咲き」などがあります。初夏に咲き誇る一番花は、大きさ・ボリュームともに圧巻です。しかし色濃く香り豊かになり美しく、質が良いと言われているのは秋に咲くバラです。気温の低下と昼夜の寒暖差が生長を緩やかにし、蕾に色素や香り成分をたくさん蓄積してくれるため、色も深まり、香りも高まるのです。

いわみざわ公園バラ園では、約 630 品種のうち約 400 品種が繰り返し咲きで、9月中旬頃～10月中旬頃まで楽しむことができます。

## 8月の市民園芸講座のご案内



### ●8月19日(土) 13:00~15:00

樹木の増殖方法 - さし木と種まきを中心に -

料金：無料 定員：40名

講師：棚橋 生子さん 道立総合研究機構 林業試験場

### ●8月26日(土) 10:00~12:00

ばらゼミ⑥コンテナ~そこに自由がある。

料金：無料 定員：40名

講師：工藤 敏博さん ローズグローワ

### ●8月27日(日) 13:00~15:00

花木・庭木の剪定と管理

料金：無料 定員：40名

講師：川原 元信さん 川原花木園

### ●9月3日(日) 13:00~15:00

秋に楽しむ寄せ植えを作ろう

料金：2,000円~(容器代別途) 定員：10名

講師：高橋 かつえさん フラワーマスター